

4°C

holdings group

株式会社4°Cホールディングス 第66期第2四半期株主通信

(2015年3月1日から2015年8月31日まで)

株主の皆様へ

～ すべてはおお客様の“笑顔”や“ときめき”のために ～

当社グループは、全てのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役社長 鈴木 秀典

2016年2月期第2四半期の総括

2016年2月期第2四半期は、昨年3月に消費税率引き上げによる駆け込み需要があったことから増収減益の計画にて臨みましたが、ジュエリー事業の好調により、売上高、利益面ともに計画以上となり、極めて順調に推移しました。

事業セグメント別にみると、ジュエリー事業では「4°C」(ヨンドシー)はゾーン・アイテムの拡充による売場面積の拡張を進めたことや、大型複合店の展開に取り組んだことで引き続き成長しました。「4°C BRIDAL」(ヨンドシーブライダル)は来店予約特典や再来店促進、限定商品の展開などのフェア施策が奏功し、好調に推移しました。加えて、出店拡大を推し進めている「canal4°C」(カナルヨンドシー)や「Luria 4°C」(ルリアヨンドシー)も計画を上回り好調に推移しました。その結果、ジュエリー事業では増収減益の計画に対し増収増益となり、過去最高益を更新しました。一方、アパレル事業は、デイリーファッション事業「パレット」の既存店好調や新規出店の拡大が業績に寄与しましたが、アパレルメーカー事業、アパレルSPA事業が苦戦しました。

通期業績計画の達成と第4次中期経営計画のビジョン実現に向けて

当社グループは、「Challenge & Evolution (挑戦と進化)」をテーマに掲げた第4次中期経営計画の初年度として、事業ごとの重点施策に取り組んでおります。

下期においても当社グループは出店、事業育成、事業規模の拡大等に引き続き取り組んでまいります。具体的には、最重要課題である既存店の売上拡大のためにゾーン・アイテムの拡充による売場面積の拡張を引き続き進めます。また、「canal4°C」、「Luria 4°C」等の出店拡大を継続していきます。加えて下期の最大のポイントであるクリスマス商戦に向けて、テレビCMや新聞広告などの販促活動や限定商品の展開も進めていきます。「4°C BRIDAL」ではクリスマスブライダル・フェアを含めた各種フェア施策を実施します。

なお、第2四半期終了時点では、通期の連結業績は当初計画通り増収増益を見込んでいます。特に営業利益、当期純利益は8期連続、経常利益は7期連続で過去最高を更新する見通しです。そして第4次中期経営計画の重点施策である「人材の育成」「商品力の強化」「マーケット動向の把握」に注力することで「100年企業」「100年ブランド」の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

第4次中期経営計画の基本方針 (2016年2月期～2018年2月期)

スローガン：挑戦と進化 Challenge and Evolution 「100年企業」、「100年ブランド」を目指して

【事業ビジョン】

- | | | |
|---|--------------|---|
| 1 | FDCプロダクツグループ | チャネル戦略の推進とゾーンおよびアイテム拡大によるジュエリーSPA事業の更なる成長 |
| 2 | アスティグループ | アパレルメーカー事業の拡大とホールセール事業の再構築 |
| 3 | (株)三鈴 | ブランド集約によるアパレルSPA事業の再構築 |
| 4 | (株)アージュ | パレットの認知度向上によるデイリーファッション事業の拡大 |

【組織ビジョン】

- | | | |
|---|----------------|---------------|
| 5 | 「4°C」ブランドの価値向上 | グループシナジー体制の推進 |
| 6 | EC事業の成長 | グループ人材育成の推進 |
| 7 | 海外小売事業戦略の推進 | グループ経営管理機能の強化 |

【数値ビジョン】

(2018年2月期目標)

連結売上高	600 億円以上
経常利益率	80 億円以上
ROE	10 %以上

2016年2月期第2四半期(2015年3月～8月) 連結決算概要

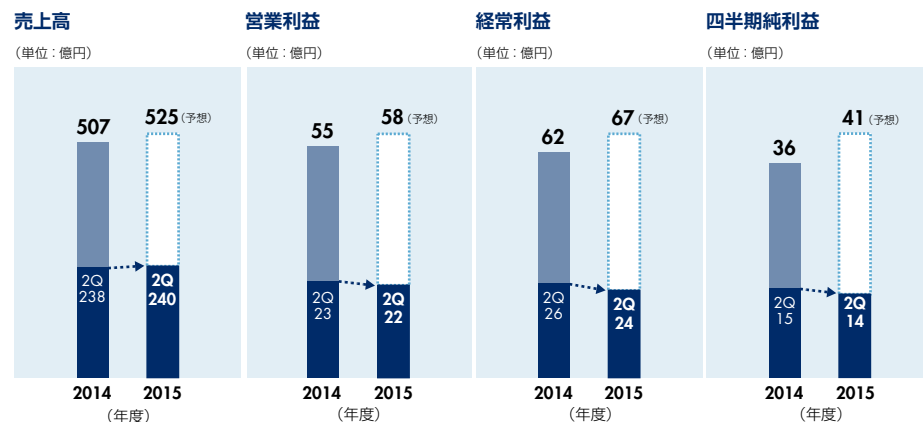
2016年2月期第2四半期連結業績

■ 前年に消費税率引き上げ前の駆け込み需要があったことから増収減益計画にて臨みましたが、売上高、利益ともに計画以上となり、極めて順調に推移しました。

■ 2016年2月期通期の連結業績は当初計画通り増収増益、営業利益、当期純利益は8期連続、経常利益は7期連続で過去最高を更新予定です。

売上高 営業利益 経常利益 四半期純利益

24,048百万円 **2,203**百万円 **2,382**百万円 **1,383**百万円
 (前年同期比 **+1.0%**) (前年同期比 **△2.5%**) (前年同期比 **△6.9%**) (前年同期比 **△10.3%**)



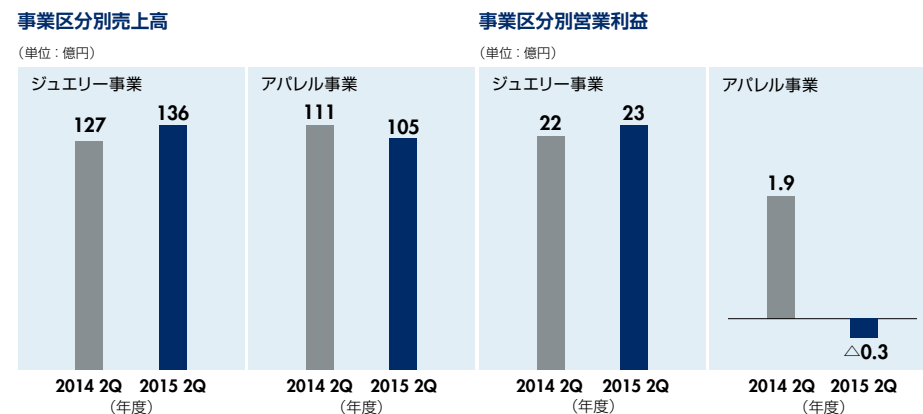
セグメント情報

■ ジュエリー事業は増収減益の計画に対し増収増益となりました。「4℃」にてゾーン・アイテムの拡充による売場面積の拡張を進めたことや、大型複合店の展開に取り組んだこと、「4℃ BRIDAL」におけるフェア施策の奏功、出店拡大を進める「canal4℃」や「luria 4℃」の好調により売上高は4期連続、営業利益では6期連続で過去最高を更新しました。

■ アパレル事業は減収減益となりました。アスティグループは引き続きバングラデシュへの生産シフトを進めました。(株)三鈴では、単品商品力と販促活動の強化により既存店の活性化に取り組みました。(株)アージュでは、主力のデイリーファッション事業「パレット」において既存店が伸張したことや、計画に沿った出店拡大により、好調に推移しました。

事業区分別業績	売上高 (単位: 百万円)			セグメント利益 (単位: 百万円)		
	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期	前年同期比(%)	2015年2月期 第2四半期	2016年2月期 第2四半期	前年同期比(%)
ジュエリー事業	12,704	13,555	+6.7	2,167	2,270	+4.7
アパレル事業	11,110	10,492	△5.6	188	△32	—

注1: 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2: 外部顧客に対する売上高を表示しています。注3: 2015年2月期第2四半期の事業区分別業績は遡及修正しています。



トピックス

「4℃」ジュエリー クリスマスコレクション

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

今年のテーマは「Eye Popper's〜アイポッパーズ〜」。Eye Popper'sとは“ワクワクさせるもの、目を見張らせるもの”、という意味があります。なんとなく心が浮きだってしまうクリスマスシーズンに、ドキドキ・ワクワクさせてくれるモノを集めたジュエリーコレクションにしました。今年は、デザインのどこかにひとさじのサプライズを秘めたクリスマス限定ジュエリーと、Watchの限定商品を揃え、すべてのお客様にドキドキ・ワクワクをお届けします。「4℃」は今年も11月28日(土)～12月13日(日)の期間、クリスマステレビCMを放映します。ひとりでも多くのお客様にハッピーサプライズが訪れますように祈りを込めて…。



2015年4℃クリスマステレビCMのワンシーン

那覇メインプレイス店オープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

7月10日(金)、那覇市最大の商業施設である那覇メインプレイスに「canal4℃」と「Luria 4℃」をオープンしました。沖縄初出店となる「canal4℃」「Luria 4℃」は、2店舗隣り合わせに出店しています。上期においては「canal4℃」、「Luria 4℃」ともに好調に推移し、下期も引き続き出店拡大を継続していきます。



canal4℃とLuria 4℃を併設した那覇メインプレイス店

大型複合店舗として京都BAL店リニューアルオープン

株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

8月21日(金)、2年7カ月ぶりにリニューアルオープンとなった京都BALに「4℃」大型複合店舗をオープンしました。「4℃」は1995年に京都BALに出店、今年でちょうど20年目を迎えます。その節目の年に、これまで展開してきた「4℃」ジュエリー、「4℃」バッグに加えて、「EAU DOUCE 4℃」(オデュース ヨンドシー)、「Luria 4℃」 「RUGIADA」(ルジアダ)と個性豊かなブランドを展開し、これまで以上に豊富な品揃えをゆったりとした空間でお楽しみいただけます。



4℃京都BAL店

バスタオル寄贈と留学生支援

株式会社アスティ

(株)アスティでは2015年も広島において社会貢献活動を行いました。1972年から毎年「敬老の日」に合わせて老人福祉施設へバスタオルの寄贈を行っています。45回目となる今年は、広島市内の71カ所の老人福祉施設にバスタオル5,633枚をお届けしました。また、ひろしま国際センター留学生奨学金では7月14日(火)に「留学生支援奨学金授与式」が開催され、アスティのこれまでの取り組みについて財団より感謝状をいただきました。



留学生支援奨学金の授与式



老人福祉施設へのバスタオルの寄贈

Rew de Rew相鉄ジョイナス店オープン

株式会社三鈴

9月11日(金)、相鉄ジョイナスに「Rew de Rew」(ルウデルゥ)をオープンしました。「Rew de Rew」としては横浜地区初出店となります。「Rew de Rew」のブランドコンセプトである「オトナ可愛い」演出を忘れない女性のためのブランドとして、いつもキラキラ輝いていたいお洒落な女性たちのココロを刺激するスタイルを提案し、ファンの拡大に取り組んでいきます。



Rew de Rew
相鉄ジョイナス店

パレット北須磨店オープン

株式会社アージュ

関西地区への集中的な出店によりドミナント戦略を押し進めているデリーファッション事業「パレット」では、7月16日(木)に兵庫県神戸市に市内2店舗目となる北須磨店をオープンしました。今後も新規出店によりドミナント戦略を推進し関西マーケットを深耕することで、シェアの拡大に取り組めます。



パレット北須磨店

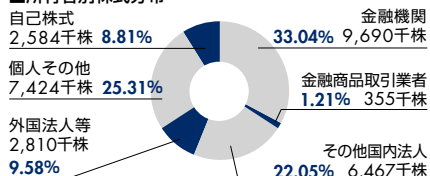
■ 株主情報

株式情報 (2015年8月31日現在)

発行済株式総数	29,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	6,722名

株式分布状況 (2015年8月31日現在)

■所有者別株式分布



大株主 (2015年8月31日現在)

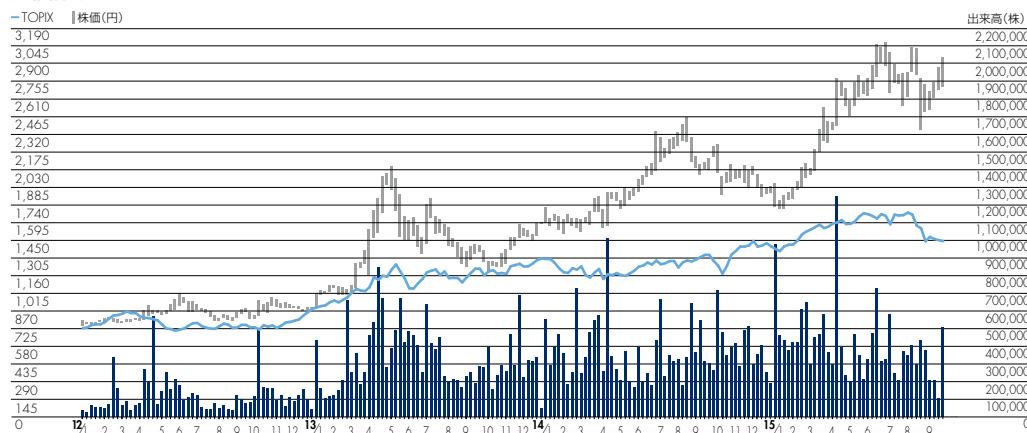
株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社フジ	3,025	10.31
株式会社広島銀行	1,374	4.69
第一生命保険株式会社	1,254	4.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	963	3.28
4℃ホールディングスグループ共栄会	792	2.70
株式会社三井住友銀行	781	2.66
株式会社伊予銀行	739	2.52
株式会社もみじ銀行	477	1.63
東京海上日動火災保険株式会社	458	1.56
尾山 嗣雄	456	1.55

注：当社は自己株式2,584,557株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

「2015年2月末株主様向け 株主優待」における寄付のご報告

今年度は、129名の株主様より、合計331,000円を日本水フォーラムへ寄付させていただきました。謹んで御礼申し上げます。

株価推移



■ 会社概要 (2015年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業および小売事業
連結子会社	10社

■ 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当会社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) http://www.yondoshi.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

■ 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都江東区東砂7-10-11

お問い合わせ先

☎ 0120-232-711 オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

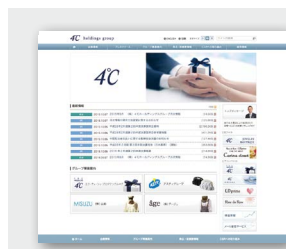
各種手続き用紙のご請求

☎ 0120-244-479 音声自動応答 / 24時間受付

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yondoshi.co.jp>

IRお問い合わせ先 TEL:03-5719-3429 / FAX:03-5719-3289

総務部株式課 E-mail: ir-yondoshi@yondoshi.co.jp